

TOPICS

【新製品情報】

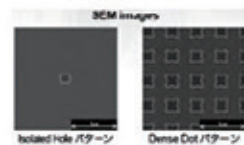
Sub-10nm最先端デバイス用マスク
CD-SEM「ZX」の販売を開始しました

ZXは、ホロンがフォトマスク市場で長年培った独自の高分解能技術、チャージ対策技術をさらに進化させ、sub-10nm最先端デバイス用マスク向けに開発したものです。

ナノパターンの高速・高精度計測が可能で、多彩なアプリケーションを搭載しています。



CD-SEM「ZX」



Isolated Hole パターン Dense Dot パターン

マスクDR-SEM LEXa-10の分解能、安定性を
進化させたLEXa-10 HRを発表しました

DR-SEM LEXa-10 HR

LEXa-10 HRIは、フォトマスク用DR-SEM LEXa-10をさらに発展させ、分解能、安定性を進化させたマスク上ディフェクト観察・分析用SEMです。

フォトマスク、EUVマスク表面の微小粒子状物質、残留薄膜などの元素分析(EDS)を短時間で正確に行うことができます。ハイエンドプロセス開発加速に大いに貢献します。

【展示会情報】

Photomask Japan 2017
第24回ホトマスク技術展示会に出展いたしました

2017年4月5日(水)、4月6日(木)の2日間、パシフィコ横浜で開催された「Photomask Japan 2017 第24回ホトマスク技術展示会」に出展いたしました。



ホロンのものさしはナノメートル。
見えない世界を測ります。

HISTORY (沿革)

- 1985年 5月 東京都新宿区にホロンを設立(資本金3,300万円)
- 1985年11月 東京都狛江市にテクニカルセンターを設立
- 1986年10月 電子ビーム微小寸法測定装置(ESPA-11)を開発・発表
- 1996年 3月 テクニカルセンターを東京都狛江市から埼玉県所沢市に新設・移転
- 1998年12月 マスク用電子ビーム微小寸法測定装置 EMU-200/300を開発・発表
- 2002年 9月 ステンシルマスク検査技術(特許)を確立・発表
- 2002年 9月 マスク用電子ビーム微小寸法測定装置、海外向けバージョンとしてEMU-220Aを発表
- 2004年 4月 韓国支店を開設
- 2005年 2月 株式会社ジャスダック証券取引所に上場 ※現 東京証券取引所JASDAQ
- 2006年11月 電子スタンプERLITHOを開発・発表
- 2009年 7月 本社を東京都新宿区から埼玉県所沢市に移転
- 2010年11月 EMUシリーズをモデルチェンジし、Z7を発表
- 2010年12月 ロールモールド評価用SEM(Roll-SEM)を開発
- 2011年 2月 nano tech大賞2011 微細加工技術部門賞を受賞
- 2013年11月 EDS分析のLEXa-7を発表
- 2014年 5月 NEDO助成事業に採択 「NILナノパターンの観察計測ができる高分解能CD-SEMの開発」
- 2015年12月 ウェハ用CD-SEM ESPA-3000シリーズを開発・発表
- 2016年 3月 品質マネジメントシステムISO9001認証取得
- 2017年 1月 デバイス用マスクCD-SEMをモデルチェンジし、ZXを発表・販売開始
- 2017年 1月 フォトマスク用DR-SEMの高機能版 LEXa-10 HRを発表

ホームページのご案内

会社情報、IR情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.holon-ltd.co.jp/>



HOLON
株式会社 ホロン

〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1
TEL: 04-2945-2951 FAX: 04-2945-2962

Business
Report

第32期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日

ホロンのものさしはナノメートル。
見えない世界を測ります。

Contents

- ・株主の皆様へ
- ・TOPICS
- ・業績ハイライト
- ・財務諸表(要旨)
- ・会社概要/役員/株式状況/株主メモ
- ・HISTORY(沿革)/ホームページのご案内

HOLON
株式会社 ホロン

株主の皆様へ



半導体産業が
多分野に広がる中、
当社の強みを活かした展開を
行ってまいります。

代表取締役社長 新田 純

株主の皆様には、平素より格別なご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第32期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)における営業及び決算の概況につきまして、ご説明申し上げます。

当期におけるわが国経済は、底堅く、緩やかに持ち直しています。

為替市場は、2016年前半、急速な円高が進んだものの、10月以降は米国での景気好調、利上げ、トランプ米大統領の財政拡大の期待感などからドル高に推移しました。

半導体業界におきましては、既に量産のできるDRAMやフラッシュメモリにおいて、ともに供給不足が続くほど好調であり、中国での工場建設ラッシュも活発化しています。

一方、マスク設備には投資遅れが生じ、当社におきましては第3四半期で下方修正を発表いたしました。しかしその後、今年1月に発表いたしましたマスクCD-SEM「ZX(ジーテン)」は当期におきまして1台売上げることができ、顧客先の都合により先延ばしされた案件も一部受注することができました。損益につきましては、研究開発費の凍結や経費の節減により利益確保に努めました。

この結果、当期実績は後記財務諸表のとおりになりました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

【当期の概況】

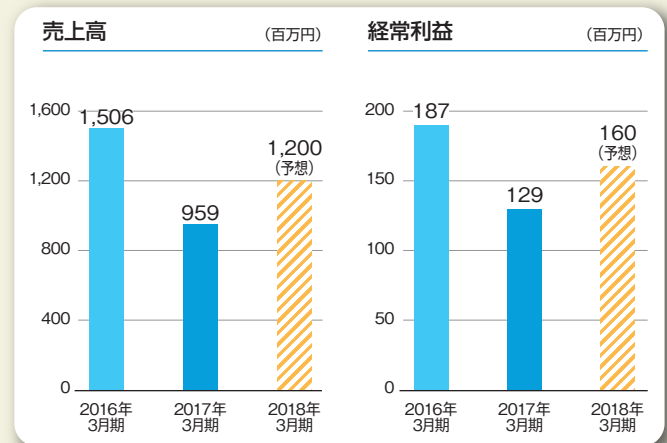
DRAMやフラッシュメモリが好調となるなか、**当社主力製品マスクCD-SEM「ZX(ジーテン)」の受注を獲得しました。**

半導体業界におきましては、DRAMやフラッシュメモリの需給が逼迫しており、売価も堅調となっております。一方、マスク設備には投資に遅れが生じ、当社におきましては第3四半期に業績の下方修正を発表いたしました。

しかし、今年の1月、当社は主力製品「Zシリーズ」の最新鋭機でありますマスクCD-SEM「ZX(ジーテン)」と、マスクDR-SEM「LEXa-10 HR」を発表しております。また、営業活動に力を注いだ結果、「ZX(ジーテン)」におきましては初号機を当期に売上げました。

損益につきましては、研究開発費の凍結や経費の節減により利益確保に努めました。

上記の結果、当期の売上高は959百万円(前年同期比36.3%減)となりました。損益につきましては、営業利益131百万円(前年同期比34.4%減)、経常利益129百万円(前年同期比30.8%減)及び当期純利益109百万円(前年同期比18.7%減)となりました。



【次期の業績予想】

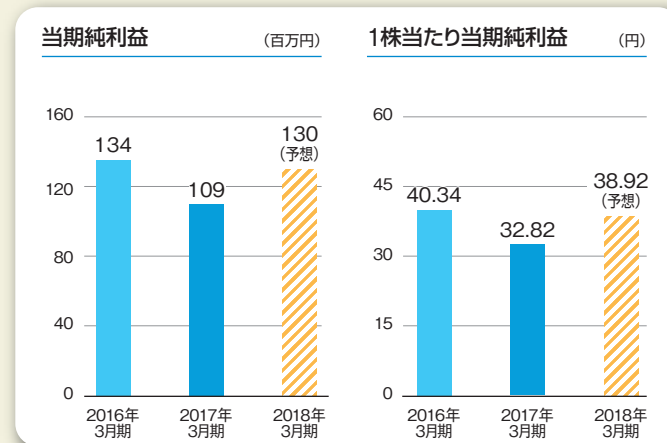
更なる性能向上と収益体質の改善に取り組み、顧客のニーズに対応した製品を提供し、業績の拡大と収益力の向上を図ります。

次期の見通しにつきましては、半導体の需要は現在堅調に推移しておりますが、CD-SEM市場におきまして競合他社との価格競争の激化が予想されております。

当社は主要顧客の設備投資動向を鑑みながら、マスクCD-SEM、ウェハCD-SEMの更なる性能向上と収益体質の改善に取り組み、顧客の仕様ニーズに対応した製品を提供し、業績の拡大と収益力の向上に努めたいと考えております。

なお、当社の主力事業である製品事業では、装置1台あたりの販売価格が非常に高額なことから、得意先の検収のタイミングにより売上計上時期は大きく変動する可能性があります。従って、月次ごと及び四半期ごとの見通しは立てにくい状況にあるため、業績予想は当社の年間目標として通期のみ開示いたします。

次期の年間目標につきましては、売上高1,200百万円、営業利益170百万円、経常利益160百万円、当期純利益130百万円を見込んでおります。



財務諸表(要旨)

単位：百万円、単位未満切捨て

■ 貸借対照表

科目	前期 2016年3月31日現在	当期 2017年3月31日現在
流動資産	1,352	1,578
固定資産	520	500
流動負債	612	569
固定負債	270	426
純資産	990	1,083
総資産	1,873	2,079

■ 損益計算書

科目	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
売上高	1,506	959
営業利益	200	131
経常利益	187	129
当期純利益	134	109

■ キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	当期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	305	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7	177
現金及び現金同等物の期末残高	391	608



より詳細な情報については
IRサイトにて決算短信などをご覧ください。

会社概要

2017年3月31日現在

会社名 株式会社ホロン(HOLON CO., LTD.)
所在地 〒359-0011 埼玉県所沢市南永井1026-1
TEL:04-2945-2951(代) FAX:04-2945-2962
設立 1985年5月
資本金 6億9,236万円
従業員数 39名
事業内容 半導体検査装置の開発、製造、販売、保守サービス

役員

2017年6月28日現在

代表取締役社長	新田 純	取締役	澤良木 宏
常務取締役	張 皓	常勤監査役	柳原 香織
取締役	大島 道夫	監査役	齊藤 秀一
取締役	菅野 明郎	監査役	齋藤 正祐

※取締役 澤良木宏氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
※監査役 齊藤秀一及び齋藤正祐の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、齊藤秀一氏は東京証券取引所の定める独立役員であります。

株式状況

2017年3月31日現在

発行可能株式総数	大株主	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
10,200,000株	株式会社イー・アンド・デイ	1,021,600	30.58	
	富加津 好夫	398,900	11.94	
発行済株式総数	新田 純	83,000	2.48	
3,340,500株	富加津 竜馬	44,200	1.32	
	監澤証券株式会社	41,200	1.23	
株主数	梶村 幸三	35,700	1.06	
2,594名	富加津 哲子	34,700	1.03	

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 毎年3月31日
売買単位 100株
株主名簿管理人及び特別口座の管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 TEL:0120-782-031(フリーダイヤル)

■住所変更、株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。